

平成〇〇年 〇月 〇〇日

尾張旭市長 殿

申請者 団体名 **尾張旭市なかよし会**  
住 所 **尾張旭市〇〇町〇丁目100**  
代表者氏名 **会 長 尾 張 旭 子**

尾張旭市地域の教育力推進事業費補助金交付申請書  
尾張旭市地域の教育力推進事業費補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

- 記
- 補助対象事業の名称  
**三世代でおこしものづくりとクイズ大会**  
補助金交付要綱の交付目的にあっていること
  - 補助金の交付を受ける目的  
**家庭と地域等が協力し、地域ぐるみで未来を担う子供たちを健やかに育む力地域の教育力の向上を目指します。**
  - 補助対象事業の区分（いずれかにをしてください。）  
体験活動事業                      健全育成事業                      研修事業  
子供のための地域安全活動                      その他（                      ）
  - 事業概要  
別紙、事業計画書のとおり
  - 補助金交付申請額（別紙、収支予算書より⑦）  
**23,350円**  
収支予算書を作成した後に記入するとよい
  - 添付書類  
(1) 尾張旭市地域の教育力推進事業費補助金事業計画書（第2号様式）  
(2) 尾張旭市地域の教育力推進事業費補助金収支予算書（第3号様式）  
(3) 団体の規約その他これに類するもの  
(4) 団体の役員名簿  
(5) 団体の収支予算書（事業収支予算書と同一の場合は不要）  
(6) 前各号に掲げるもののほか、パンフレット、チラシ等団体の活動内容等  
が分かるもの  
住所、氏名、電話番号が記載されていること  
会の名称及び所在地、目的、役員、会費等の扱いなどが書かれていること

## 尾張旭市地域の教育力推進事業費補助金事業計画書

団体名	尾張旭市なかよし会		
補助対象事業の名称	三世代でおこしものづくりとクイズ大会		
事業の内容	尾張旭に伝わる雛祭りの郷土のお菓子「おこしもの」の作り方を地元の女性に教えてもらい、三世代の参加者とともに作ります。また、おこしものを蒸している間に、尾張旭を題材にしたクイズ大会を行います。		
同一内容事業の補助金交付回数	今回で 1 回目	前回この事業で補助金の交付を受けた年度	—年度
実施期間	平成00年0月00日（土） 午後1時～3時		
実施場所	尾張旭市中央公民館 203実習室		
事業の目的と期待される成果	<p>（何を目指し、どんな成果が得られる予定かを記載してください。）</p> <p>祖父母・親・子供の三世代が協力しておこしものづくり等を体験することにより、自分たちの住む尾張旭に関する知識と交流を深め、子供たちを健やかに育てる地域の教育力を向上させることができる。</p>		
対象者	00小学校区の小中学生とその親、祖父母世代		
参加予定人数	参加予定総数 大人 20人 子ども 20人 合計 40人 （うち申請団体会員 大人 5人 子ども 10人 合計 15人）		
参加者募集方法	<p>予定する項目に☑をしてください。（複数可）</p> <p><input type="checkbox"/>地域の自治会・町内会回覧版（ 月 日ごろ予定）</p> <p><input type="checkbox"/>生涯学習課を通じて広報おわりあさひに掲載（ 月 日号を予定） （広報掲載を予定する場合は60日前までに申請してください。）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>生涯学習課を通じて公民館等へチラシ等を配布（ ●月 ●日ごろ予定）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>その他の方法</p> <p>〔 祖父母世代の参加者として、00老人クラブに参加をお願いします。 〕</p> <p>※ 実施団体の会員及びその家族以外の参加を呼び掛けてください。 （実施団体が自治会、町内会等及び小中学校PTAの場合を除く）</p>		
協力団体等とその内容	<p>（協力して事業を行う団体等があれば、名称と協力内容をお書きください。）</p> <p>00地区婦人会におこしものづくりの講師を依頼します。</p>		
その他			

尾張旭市地域の教育力推進事業費補助金事業収支予算書

申請団体名	尾張旭市なかよし会	補助対象事業名	三世代でおこしものづくりとクイズ大会
-------	-----------	---------	--------------------

収入 (単位：円)

項目	予算額	予算額の積算根拠等
尾張旭市補助金	⑦ 23,350	尾張旭市地域の教育力推進事業費補助金 (⑤と⑥のうち、どちらか低い金額)
団体自己資金	20,150	なかよし会会計より
参加者負担金	20,000	500円×参加者40人
合計	63,500	

先に支出から記入を始めること、ほんの少し余裕をもった金額で計算することがコツです。(申請後に補助金を増額することはできません。)

支出Ⅰ（賞品以外の支出） (単位：円)

項目	予算額	うち補助対象経費	補助対象経費の内容
報償費 講師謝礼	10,000	10,000	1,000円分図書券×婦人会10人
旅費 材料費は1人当たり500円以内が補助対象経費			
需用費	10,000	10,000	文具・用紙等消耗品代、 チラシ・レシビ・資料等印刷代
(材料費) おこしもの材料	28,000	20,000	※@700円×40人のうち @500円×40人が補助対象経費
役務費 障害保険料	4,000	4,000	100円×40人(参加者と講師)
委託料			
使用料及び賃借料 会場使用料	1,600	1,600	中央公民館203実習室 400円×4時間
その他 全員に配布する参加賞は補助対象外			
計	① 53,600	② 45,600	

※ 材料費は一人当たり500円以内が補助対象経費となります。

支出Ⅱ（賞品に係る支出） (単位：円)

項目	予算額	うち補助対象経費	補助対象経費の内容
報償費(賞品) クイズ大会の賞品	③ 9,900	④ 5,500	参加賞 110円×40人(補助対象外) 優勝等 550円×10人(補助対象)

支出Ⅰ・Ⅱの合計及び補助金額の算出

区分	予算額	うち補助対象経費	補助率	補助金算出額
支出Ⅰ (賞品以外の支出)	① 53,600	② 45,600	1/2	22,800
支出Ⅱ (賞品に係る支出)	③ 9,900	④ 5,500	1/10	550
合計	63,500			⑤ 23,350

補助金上限額

⑥ 40,000

☆ ⑤と⑥のうち、どちらか低い金額が補助金予算額⑦となります。

同じ額になること

# 事業を行うときの注意事項

## 1 補助対象経費の領収書

交付決定通知の前に購入した物品等は、補助対象経費にすることはできません。領収書の日付が、交付決定通知日より後になっているか確認してください。